

名所

ヲ先キニ而智ヲ後ニスルトイワンヤ、最智勇兼備ノ人有ト難云、唯氣質ニ勝テ、勇ヲ強ク行フ風俗ナリ、危キ事ノミ多シ、

〔日本鹿子七〕同國總○上名所之部

海上瀉 當國中よりひがしのかた也、海上は郡の名也、海邊なり、此所のはまべより、あわ下總の

浦々かすみに見えわたる、

浮寝する海上かたの沖のすにたづぞ鳴なるよや更ぬらん

浪の山 海上のうち、磯邊にある此山よりも、近國の浦々よく見えわたたり、景よき山也、大明神の

宮として、山のうちにあり、

千草の濱 當國と下總との堺の海邊也といふ、所の人に尋るに、總名當國の濱邊をいふといへ

り、實正いづれの所にや、おぼつかなし、

色々のかひありてこそひろはめれ、千草の濱のあまがまに

雜載

〔延喜式兵部二十八〕諸國健兒略○中 上總國一百人略○中

諸國器仗略○中 上總國甲四領、横刀十六口、弓冊八、張征箭冊八具、胡籙冊八具、

〔三代實錄清和十四〕貞觀九年十二月四日己巳、勅上總國置檢非違使一員、主典一員、帶劔把笏、

〔三代實錄清和十八〕貞觀十二年九月十五日甲子、遣新羅人二十人、配置諸國略○中 僧嵩、沙彌傳僧、關解、元

昌、卷才五人於上總國、

〔萬葉集東四〕奈都素妣久、宇奈加美我多能於伎都渚爾、布禰波等、杼米牟佐欲布氣爾家里、

右一首上總國歌略○中

相聞略○中

宇麻具多能禰呂乃佐左葉能、都由思母能、奴禮氏和伎奈婆、汝者故布婆會母、